

# 一般質問

～10人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 6 須田 勝 議員

- 渋川再生で市民のしあわせを
  - 1 敷島駅前再生
  - 2 群銀敷島支店の存続
  - 3 消防団改革
  - 4 生涯教育

P 6 細谷 浩 議員

- これからの渋川について
  - 1 南部振興策

P 7 田村 なつ江 議員

- 緊急安全対策について
- 子育て世代包括支援センターについて
- 救急医療体制について
- 生活保護に該当しない生活困窮者への対策

P 7 板倉 正和 議員

- 空き家対策について
- 移住定住の促進
- 狭あい道路解消の推進

P 8 田中 猛夫 議員

- 農業（野菜）の生産振興対策について
  - 1 渋川市農林業振興計画
  - 2 農産物のブランド化
  - 3 地産地消の推進

P 8 安カ川 信之 議員

- 渋川市におけるSDGsの取り組みについて
  - 1 人口減少社会の取り組みについて

P 9 池田 祐輔 議員

- 渋川市のランドデザイン
  - 1 周辺市町村との連携について
  - 2 圏域単位のまちづくりについて

P 9 山崎 雄平 議員

- 猛暑による熱中症の対策
- これからの農業

P 10 加藤 幸子 議員

- 幼児・保育「無償化」と保育行政について
- 国民健康保険制度について

P 10 角田 喜和 議員

- 職員の働き方改革について
- 契約のあり方について

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



須田 勝

## 渋川再生で市民のしあわせを

### 敷島駅前再生

**質問** 昨年の同質問で、地元商工会や地域の方々の意向を確認し取り組むとのこと。現在の進捗よく状況を具体的に聞きたい。

**産業観光部長** 敷島駅前周辺の空き地利用については、地権者とも協議を進めており、並行して地元商工会等と意見交換し、敷島駅周辺の開発構想を取りまとめます。

### 群馬銀行敷島支店の存続

**質問** 群馬銀行に対して存続の要望をしたが、経緯と結果は。

**市長** 敷島支店閉店の発表を受け、市長、市議会議員、地元市議会議員、経済団体、地元自治会等の連名で存続の要望書を提出し、当面営業を継続との回答を得ました。

### 消防団改革

**質問** 渋川市消防団32分団は、定員より実員数は欠員を生じている。団員確保のため退団年齢の引き上げは。また昼間の火災、災害時、OBの方が活躍している。正式にOB団を結成しては。

### 危機管理監

本市では定年制がな



当面の間存続する敷島支店

く、近年は退団者の減少により団員数が増加傾向にあります。OB団は、昼間時のみ活動する機能別消防団員として導入を検討します。

### 生涯教育

**質問** ゆりかごから墓場まで、人生の日常生活における習わし、しきたり、交通マナー等を学校の授業でどのように教えているのか。

**教育長** 学習指導要領に基づき、社会や道徳、学級活動の時間を中心に、伝統文化の尊重や継承することの大切さ、交通マナー等について学習指導を行っています。



細谷 浩

## どじするんっ！これからの渋川

**質問** JR八木原駅周辺整備計画に伴う、駅西側の県道拡幅はどのような計画か。また、移転の対象となる住宅はあるのか。

**建設部長** JR八木原駅周辺整備における西側駅前広場整備の計画に合わせて、県道整備を群馬県にお願いしています。また、移転対象は、4件を想定しています。

**質問** 八木原駅周辺整備計画の一環として、市道中村大久保線に歩道整備が必要と考えるが、歩道整備計画は。

**建設部長** 計画はありませんが、歩道設置は必要と考えます。事業の着手は渋川南部地域全体の道路整備の中に位置付けることで一体的な歩道整備を図っていきます。

**質問** 古巻公民館建設計画の検討委員会から出されている要望は。

**教育部長** ホール500席、多目的に利用できる学習室120席のほか、図書室、視聴覚室などの設置で、要望を合計すると延床面積は2500㎡程度になります。

**質問** 新たな公民館に行政センタ



歩道設置が望まれる市道中村大久保線

機能や子育て支援、災害時の避難所などの整備計画は。また隣接地に都市公園の整備計画は。

**教育部長** 住民票の発行や子育て支援、防災の機能など多様な利便性を検討します。また、周囲の開発は制限等があり、公民館建設に合わせることは困難な状況です。

**質問** 前橋・吉岡バイパスと、都市計画道路半田南線の早期着工は。

**建設部長** 広域的幹線道路となる吉岡バイパスの延伸と半田南線は、ともに群馬県による早期整備を継続して要望します。

# 一般質問



田村 なつ江

## 生き生き暮らせる渋川市に

### 市の緊急安全対策は

**質問** 大津市の園児死傷事故及び川崎市の子供安全対策の現状と対応は。

**市長** 安全確保対策として園外活動の実施状況を確認し周辺道路等の一斉点検を行いました。防護柵、区画線等の設置や補修、園外活動時の横断旗等早急に対応します。

**質問** 伊香保温泉の石段に破損危険箇所がある。事故を未然に防ぐため早急に整備できないか。

**建設部長** 破損箇所については確認しており、現在準備を進めていますので、早急に補修を実施します。

### 子育て相談の窓口を一本化に

**質問** 複数の子育て支援窓口があるが、ワンストップ化できないか。

**市長** 最初の窓口は保健センターとし、必要に応じて関係部署と連携していきます。将来的には施設の一本化を検討します。

### 緊急医療の受け入れ充実を

**質問** 渋川医療センターの緊急時受け入れに問題がある。市民が安

心できる地域医療体制づくり充実の考えは。

**市長** 救急医療体制を充足するには外科医をはじめとする医師確保が重要です。今後も渋川医療センターと協力して進めていきます。

### 生活困窮者の救済方法は

**質問** 生活保護に当たらない困窮者の支援の現状と対策は。

**福祉部長** 生活困窮者自立支援法に基づき、自立に向けた相談支援事業、就職活動中の家賃補助事業、高校受験に向けた子どもの学習支援事業を行っています。



第3次救急が望まれる渋川医療センター



板倉 正和

## 増える空き家移住定住対策に本腰

**質問** 空き家対策の具体的対策とこれまでの取り組みと成果、さらなる改善が必要ではないか。

**市民部長** 毎月第2水曜日に空き家相談、空き家バンクの運用、県宅地建物取引業協会等へ空き家情報提供により市場流通の促進や利活用の推進に取り組んでいます。

**質問** 今までに空き家に対する近隣の苦情等があったか。どんな事例か、安全性の低下で防犯・防災上の問題はないか。

**市民部長** 苦情の内容は、雑草、立木の繁茂、外壁や屋根のはく落等があり、防災上の対策では空家等対策の推進に関する特別措置法等に基づき適切に対応しています。

### 移住定住の促進

**質問** 住環境整備の補償制度の充実。転入の促進、転出の抑制は。

**建設部長** 補助制度については、一定の限度が必要なものと考えています。よりよい制度となるよう、制度の検証をしながら取り組んでいきます。

**質問** まち・ひと・しごと創生総

合戦略の交流人口の拡大、魅力ある街を目指し、移住定住の促進は。

**総務部長** 市長を本部長とする人口減少対策本部を中心に各種取り組みを進めており今後もさまざまな仕掛けをつくっていきます。

### 狭あい道路解消の推進

**質問** 道路後退の対策、整備、維持管理の新事業をスタートしては。

**市長** 未処理となっている事案の処理には、補助金も必要だと思えます。あらためて、狭あい道路解消の重大さを認識して対応していきます。



増える空き家



田中 猛夫

農業（野菜）の振興対策について

野菜の生産振興に市補助を

**質問** 本年度策定される「渋川市農林業振興計画」で、野菜指定産地として指定される「ホウレンソウ・「ネギ」」の生産振興対策は。

**産業観光部長** 生産の合理化・栽培面積の拡大のための生産施設・作業機械の整備、食の安全・安心や品質向上対策のための農業生産工程管理の取組支援及び近年、被害が拡大しているネギの土壌病害対策について、試験研究や土壌消毒機械の導入支援に取り組んでいきます。

**質問** 「渋川市農林業振興計画」を推進していく中で、雨よけ施設の導入、土壌消毒薬剤等に、市は補助金を交付していく計画か。

**市長** 産地化・ブランド化に必要な施設・機械の整備などについて、国・県の補助事業の活用を中心に検討していきます。

農産物のブランド化を

**質問** 農産物のブランド化に取り組む生産者が注目される中で、市のブランド化の取り組みは。

産業観光部長

栽培面積の拡大や高品質生産、かんがい用水を活用した新規作物の取組、農産物直売所を拠点とした地場産農産物PR活動に取り組んでいきます。

地産地消の推進を

**質問** 消費者と生産者を結び付ける「地産地消」の市の取組は。

**産業観光部長** 現在、渋川広域農業活性化推進協議会を設置し、伊香保温泉旅館等への食材供給や新作料理の開発の取組、観光農園などをPRするためのイベントを開催しています。



ねぎ栽培ほ場



安力川信之

誰一人取り残さない市政運営を

質問 本市におけるSDGs（国連が採択した持続可能な開発目標）の取組は。

**総合政策部長** 本市にとって重要で、既存施策との親和性も高いと考えますが、現時点でSDGsの位置付けはありません。今後、具体的な検討を進める予定です。

**就職氷河期対策 就労支援の取組**

質問 引きこもり解消のために引きこもり支援センターを。支援や相談体制を充実すべき。

**市長** 行政と関係機関や地域等が密接に連携を取り、引きこもり者に対する情報や認識の共有を図り、必要な支援につなげていくなど、支援手段を検討していきます。

**助けられる命を**

**質問** 救急車が到着するのに時間がかかる。救命のために市民参加の取組みとして、市民救急支援員制度を。また医療センターにドクターカー配備を。

**スポーツ健康部長** 救急支援員制度は渋川消防本部と協議中です。

市長

ドクターカー導入は、渋川医療センターでの救急救命医療の体制構築が当面の課題です。多方面から医師確保策を検討し、他地区と協議を重ね努力していきます。

**食品ロス削減推進法が成立**

**質問** 食品ロス・ゴミ減量化の取組みのために「もったいない条例」のような行動規範を。

**市長** 条例を制定し、皆さんで共通の認識を持って取り組んでいくのも一つの方法だと思えます。これから、よく考えてみたいと思います。



世界を変えるための17の目標  
(国連広報センターから)

# 一般質問



池田 祐輔

## 未来へ向けた周辺市町村との関係づくり

**質問** 有馬地域内高崎渋川パイパスから有馬企業団地までの吉岡町との連携道路整備スケジュールは。

**建設部長** 有馬、小倉の地元説明会を8月中に行い、工事期間も含めて令和2年度より着手予定です。

**質問** 道路整備により利便性の向上する有馬企業団地拡張を。

**産業観光部長** 連携道路整備を好機と捉え、有馬企業団地の拡張を含め企業誘致を進めます。

**質問** 古巻地区では下水道未整備地域に多くの宅地が造成されている。下水道整備に係る計画を見直すべきだと考えるが見解は。

**水道部長** 令和2年度の事業計画見直しに含めて、古巻地区の未整備区域についても調整を図り、事業を推進します。

**質問** 隣接する周辺自治体と公共交通ではどのような連携をするか。また高齢者移動支援での連携を図ることはできないか。

**総合政策部長** 既存の広域バス路線の活用による連携や移動支援の情報・課題等を共有し、効果的な

## 関係づくり

取り組みを検討したいと考えます。

**質問** 自治体戦略2040構想研究会の第2次報告を受け、圏域による行政運営についての考えは。

**総合政策部長** 圏域マネジメントの視点から周辺自治体との連携による効率的な行政運営を探りたい。  
**質問** 市長の考える2040年の渋川市とは。

**市長** 人口推計では厳しい数値が出ているが、地域の力の強化や圏域制度の枠組みにとらわれない周辺自治体との連携により、エネルギーのある地域をつくりたい。



群馬県における渋川市の位置



山崎 雄平

## 猛暑による熱中症の対策

**質問** 昨年は猛暑により、40℃超えを記録、緊急搬送や死者も多かった。本年も早々に熱中症の報告が相次ぎ、死者も出ている。心配される熱中症の対策を伺う。

**スポーツ健康部長** 引き続き防災行政無線等で、注意喚起を行います。エアコン等の適正使用や日中に涼める場所等の周知も行います。

**質問** まだ夏の入り口であるが、学校では熱中症対策として、どのようなことをしているか。

**教育部長** 学校全体で熱中症の理解を深め、児童生徒の健康を第一に考え、きめ細かな健康観察、気温や湿度等の環境条件に応じた教育活動で対応しています。

**これからの農業**

**質問** 農林業従事者については高齢化が進み、後継者もなく、経営の継続が困難となっている。地域農業の現状は。

**産業観光部長** 若い人たちの農業への関心が高まり、自ら就農する取り組み、農村に赴き地域の活性化に参加する取り組み等あります。

**質問** 農業次世代人材投資資金の取り組みについて、過去3年間の対象人数は。

**産業観光部長** この3年間で個人2人、夫婦2組の4件が交付対象となっています。

**質問** 新規就農で地域農業発展の力になっているモデルケースはあるか。

**産業観光部長** ソバの二期作栽培を開始し、100haを越える栽培と6次産業化の取り組み、地域の人たちの雇用、農業委員を務める地域リーダーがいます。



雨間で作業中



加藤 幸子

3歳児から5歳児の給食費を無料に

**質問** 今年10月の消費税10%に引き上げと引き換えに、3歳児から5歳児の保育料が無料になる予定。渋川市がすべての子の保育料無料化をした場合の影響額は。

**福祉部長** 国の無償化と合わせて、本年度の市の負担額は1662万円の減額、令和2年度では238万5000円の増額と推計しています。

**質問** 保育所の給食費は、3歳児から5歳児が4500円となる。心も体も育てる「給食は保育の一貫」である。子育て支援に逆行する有料はやめ無料にできないか。

**市長** 保育において食事が体や心をつくるという「食育」の推進は重要です。状況を勘案しながら取り組んでいきます。

**質問** 保育士基準を満たさない施設も保育料無料化の給付対象になるが保育の質の確保はできるのか。

**福祉部長** 保育士の配置基準や研修の受講計画等、基準に照らし合わせ、市としても指導をしています。

13億円の基金を使って国民健康保険税の引き下げを

**質問** 12市中、国保税が1番高いので、払いたくても払えない世帯が1割超もある。基金を使って市民が払える国保税額にするべき。

多子世帯の高校卒業までの国保税の均等割を無料にできないか。

**市長** 国保財政は県域化しましたが、現在は移行期ですので、財政安定化の見通しを見極めながら今後検討をしていきたいと思っています。

**スポーツ健康部長** 公平な負担の点で均等割廃止は考えていません。



みんなで食べる給食おいしいね



角田 喜和

有給休暇の取れる働き方改革を

**質問** 市職員全体の47.9%が嘱託職員や臨時職員で支えられている。民間も公務員も有休を5日間は取るように法改正された。正規職員731名のうち、有休の取得が5日未満の職員は何人で何%か。取得できない理由は何か。

**総務部長** 年次有給休暇の取得が5日未満の職員数は190人、率にして27.2%です。年次有給休暇が取得できない理由ですが、それぞれの職員の状況によりますので把握していません。

**質問** 有休を取りたくても取れない職場があると聞いている。高ストレス状態に置かれ、体調にまで悪影響を及ぼしかねない。きちっとした働き方改革を行う方策を取るべきと考えるがいかかが。

**市長** 地方公共団体はサービス業の一つです。それぞれ一人一人の職員が最大の力を発揮するというのが大事です。人が働く職場ですから、健康管理をしっかりと、万全の体調で市民に向き合うことが大事だと思っています。管理監

督する立場にある職員が一人一人の身体的なこと、精神的なことに心配りをしながら働く職場をつくりていきたいと思っています。

**質問** 学校給食共同調理場の正規職員と臨時職員数は。臨時職員を正規職員にする考えはあるか。近い将来、民間委託を考えているか。

**教育部長** 県栄養教諭を除く職員数は正規15人、臨時95人です。

**市長** 公務員の採用は、競争試験等により公平公正に採用します。

**教育部長** 民間委託は関係課と調整し、適正な時期を検討します。



臨時職員に支えられている調理場